

第46回 全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録

- ※1 追い風参考記録は対象としない。
- ※2 四種競技は、平均風速が2.0mを超えた記録は対象としない。
- ※3 電気時計とする。(手動計時は認めない。)

男 子 (13種目)		女 子 (10種目)	
種 目	写 真 判 定	種 目	写 真 判 定
100m	11"20	100m	12"53
200m	22"75	200m	25"80
400m	51"60	800m	2'16"50
800m	2'00"50	1500m	4'38"00
1500m	4'08"50	100mH	14"80
3000m	8'57"00	走 高 跳	1m60
110mH	15"00	走 幅 跳	5m45
走 高 跳	1m85	砲 丸 投	12m50
棒 高 跳	4m00	四 種 競 技	2630点
走 幅 跳	6m55	4×100mR	各都道府県1チーム (学校単独チーム)
砲 丸 投	13m00		
四 種 競 技	2500点		
4×100mR	各都道府県1チーム (学校単独チーム)		

※ 追い風参考記録は対象としない

【男女リレー種目の全日中大会への愛媛県代表選考について】

- (1) 全日本中学校通信陸上愛媛県大会(以下通信陸上)と愛媛県中学校総合体育大会(以下県総体)との2大会とも優勝したチームを県代表とする。
- (2) 通信陸上と県総体の2大会で優勝チームが異なる場合は、それぞれの大会での決勝レースの記録の良いチーム(1/1000判定を含む)を県代表とする。
- (3) (2)のケースでも同タイムの場合は、予選レースでの記録を比較し記録の良いチーム(1/1000判定を含む)を県代表とする。
- (4) (3)のケースでも同タイムの場合は、県総体閉会式終了後、代表決定レースを行いこのレースに勝ったチームを県代表とする。

愛媛県 参加選手選考基準

参加制限

1. 指定突破大会（通信大会、県総体、混成大会）において、参加標準記録（別紙）に到達した選手は、無条件に出場できる。
2. 各都道府県で、標準記録到達選手が男女合計10名に満たなかった場合は、標準記録到達選手と推薦選手の合計10名（男女比は問わない）までの参加を認める。（ただし四種競技は除く）なお、推薦による参加の場合は1人1種目とする。（リレーは除く）
例) : 標準記録到達選手が男女合わせて5名だった場合、合計10名までの出場が認められるので、残り5名以内（男女比は問わない）が出場できる。

推薦選手については、各都道府県で決定する。選考方法についても各都道府県で決定する。

推薦選手の選考方法

1. 指定突破大会（通信大会・県総体）における決勝レースまたはラウンドに進出した者の中から、両大会を通じての最もよい記録（追風参考記録は対象としない。また決勝レースまたはラウンドを棄権した場合は予選記録が対象となる。）に従って各種目の上位ランキング選手をピックアップする。なお該当選手が標準記録に到達している場合は、下位の選手から順次繰り上げる。
2. 各種目における上位ランキング選手の記録の「標準記録到達度」を算出する。標準記録到達度のより高い選手から、出場が認められる人数まで推薦選手として決定する。標準記録到達度が同じになった場合は、指定突破大会におけるセカンド記録（セカンド記録も同じならサード記録）の標準記録到達度で比較する。

標準記録到達度の算出法

個人の記録が標準記録に達していない場合、トラック競技では個人の記録がそれより大きくなり、フィールド競技ではそれより小さくなる。よって、（個人の記録 / 標準記録）の値と、1との隔たりの絶対値を100倍した数値を標準記録到達度とし、この値が小さいほど上位とする。

標準記録到達度 : (1 - 個人の記録 / 標準記録) の絶対値 × 100

例) 男子100mで11"25の選手
$$1 - (1125 / 1120) \times 100 = 0.4464\dots$$

女子1500mで4'40"50の選手
$$1 - (28050 / 27800) \times 100 = 0.8992\dots$$

男子走幅跳で6m45の選手
$$1 - (645 / 650) \times 100 = 0.7692\dots$$

女子砲丸投で10m45の選手
$$1 - (1045 / 1250) \times 100 = 16.4$$

- ※ 同一種目において標準記録到達者が2名以上いる場合は、その種目におけるそれ以上の推薦選手は選出しない。
- ※ 同一種目において標準記録到達者が1名の場合は、その種目における推薦選手は1名までとする。
- ※ 同一種目における推薦選手は2名までとする。